

森と緑の会だより

【表紙写真】

大荒の滝に咲く

かわいい白い花

こうち山の日推進事業(主催: 梅久保昔の青年団)にて、昨年10月23日、御在所山周辺の山の恵みを活用して地域の持続的な活性化を目指したワークショップと大荒の滝ガイドツアーに参加しました。大荒の滝周辺には自生するたくさんの中間のジンジソウでした。人の字に似ていることが名の由来だそうです。

秋号

2022



森林ボランティア養成講座プレイベント 講話「里山の魅力」と樹木観察会

7月31日（日）の午前に高知市朝倉総合市民会館にて高知県森林インストラクター会会長荒尾正剛さんに「里山の魅力」と題してお話ししていただき、午後にアジロ自然の森にて森林インストラクターと歩く「樹木観察会」を開催しました。



講師紹介：荒尾正剛さん

高知県森林インストラクター会会長。高知県の自然に魅せられて30年以上前に移住。休日は森林整備や農作業、漁業にいそしむ。最近は、もっぱら中山間地域を元気にする小さなビジネスづくりのサポートに力を入れている。

講話「里山の魅力」より

森林ボランティアって？

一般参加者は17名。講話の初めに、荒尾さんから「あなたが目指す森林ボランティアのイメージ」について参加者に質問しました。参加者からは、森林を活用して子どもたちにその大切さや楽しさを伝える環境教育をする、竹林やキノコの生産のための森林整備をする、森の案内人を養成するなどがあげられました。一方で、どの山に入って良いのか、どの木を切って良いのかわからず、自らできないという意見もありました。荒尾さんは、森林ボランティアとは森林の機能をより高く発揮する森づくりのために自分の意思を持って行動し、活動していくこと、そして、ボランティアの仲間に加わり、先人から森の大切さや怖さを学び、少しずつ知識や経験を積んでいくことが大事であると教えていただきました。

森林と人との関わり方

次に、私たちが森林とどう関わるのか、4つのテーマについて○△×で参加者に質問しました。

1つ目の質問の「森林は、手を入れずに自然のままの状態を維持することが最善である。」では、参加者の大半が×と回答しました。私たちは森を活用して生活していました。生活を維持するため、森林を資源として利用し、循環していくことが必要で、手を入れることで山（森林）がより良くなると伝えました。

2つ目の質問の「快適に生活できる環境づくりより、自然環境を維持するほうが重要だ。」では、△×の半々の回答でした。どちらかではなく、快適な生活かつ自然を維持していく必要があると伝えました。

3つ目の質問の「森林ボランティア＝森林整備の奉仕活動である。」では、△×の半々の回答でした。森林ボランティアはタダ働きではないということ、その奉仕活動

は、自分の意思をもって能動的に森林整備をして、継続的に行い、長い時間を要してより良い状態にしていく必要性を伝えました。

4つ目の質問の「森林ボランティアに係る経費は、装備品を含め、全て自分持ちにするべきだ。」では、大半が×と回答しました。森林ボランティアは労働ではありませんが、ヘルメットなどの安全装備は最低限として支給し、さらに昼食や旅費、謝金などの支援は、続けていくために必要なことと伝えました。

変わりゆく人と森林との関わり

江戸時代末期、薪炭林として森林資源を利用しつくし、山々には木が生えておらず、荒廃していましたが、明治から昭和初期には、保安林制度の制定や化石燃料の利用などから森林が増えたことなど、写真を見ながら説明していただきました。近年では森林の利用の減少で森林機能が低下してきたことにより、森林環境税が設けられるなど森林の公益的機能の役割が認識され始めたとのことです。

森林の機能の働き

：間伐の必要性と効果

森林には河川の氾濫や枯渴を防ぐ保水機能があること、土砂流出を防止する機能があることなどを紹介しました。日本の森林は栄養を蓄える豊かな森を作ることから、講師曰く森は無いよりあった方が良く、手を入れる、つまりは間伐することで木の成長を促し、森林の機能を高めることにつながると伝えました。

需要が期待できる森のめぐみ

森林には活用できるたくさんの資源に

あふれていて、地域の特性によって資源を活用し、地域の産業・経済活動に繋げていくことができると言えました。

森林資源の活用として薪があげられ、アウトドアブームにより薪の需要は年々増加しているとのことです。ドリルとチェーンソーがあれば木の丸太でスエーデントーチを作り、燃える火を見て楽しんだり、料理をしたりできます。また、アセビやヒノキ、ヒサカキの枝などが観賞、飾り、お供えなどに利用されること、クヌギやアカメガシワ、ウラジロガシなどの樹木が薬用になることなど具体的な資源利用について紹介していただきました。

以上の講話を通して、森林の公益的機能や多面的機能を維持し、高めるためには、間伐など整備することが重要であること、また、地域の人々や森林ボランティアに携わる方たちが森林との関わりを継続していくこと、そしてそのために森林がもたらす有用な資源の活用について知識として持ち、今後の活動に繋げていくことが大切であることを教えていただきました。



午後はアジロ自然の森にて交流会の後に、森林インストラクターの解説による樹木観察会をしました。コナラやリョウブ、ヒサカキなど高木から低木まで里山を代表するたくさんの樹木を観察しました。

当会では身近な樹木の保護・育成として、樹木の手入れなどのボランティア活動を行っています。高知県立歴史民俗資料館にて緑の募金を活用して実施した桜の手入れボランティア活動について紹介します。

6月5日（日）、地元住民や一般参加などを含めて30名以上が参加し、歴史民俗資料館の入り口から資料館建物までの道沿いにある桜並木の手入れを行いました。

はじめに歴史民俗資料館の田中宏治館長からご挨拶をいただき、続いて講師の濱田吉成樹木医（右写真）から作業内容を説明し、手入れ方法を実践して解説していただきました。



ていきます。是非とも参加して樹木の手入れ方法を習得していただき、地域の樹木の手入れに役立ててください。

【ご協力いただいた皆様】

高知県緑サポーター会会員、桜ライオンズクラブ、日本樹木医会高知県支部、県立歴史民俗資料館職員、地元住民、一般参加者の方々



丸枠で囲んでいる胴吹き枝を除去しました。

胴吹き枝の除去（今回の作業内容）

樹木は弱ると上方の枝葉が枯れ下がり、普段は幹に隠れている芽（不定芽）が代わりの枝葉となって出てきます。これが胴吹き枝です。岡豊城址の地山は蛇紋岩地帯のため腐葉土が少なく、桜が十分に根を伸ばすことができず弱っていました。昨年1月に施肥することで胴吹き枝が元気よく芽吹きましたが、これを放っておくと養分を取られ元の枝葉がよけいに弱ってしまうため除去が必要です。

作業は3班に分かれ、剪定バサミや手ノコなどを使って不要な枝を切り落としています。幹に沿って切り落とすのがポイントです。そして、切口に防腐の薬剤を塗ります。お昼は、桜ライオンズクラブさんにご提供いただいたお弁当を美味しくいただき、午後2時ごろに終了しました。

当会では引き続き同様の活動を実施し



木や森に親しみ五感を育む

木や森と触れ合することで子どもたちの健やかな成長を促し、将来自然を大切に考え行動できる人を育てる「木育」に取り組んでいます。

香美市の木でつくる 夏休み・親子スプーンづくり

緑の募金

夏休みに入って最初の日曜日。緑の募金を活用して、親子で木のスプーンを作る講座を香美市支部と共に開催しました。

7月24日(日)、香美市中央公民館にて、小学低学年の児童と保護者9組19名が参加し、地元の木を使ったスプーンづくりをしました。材料はサクラ、ツバキ、リョウブなど9種類を用意し、木肌の色や樹皮の模様の違いを見比べて好きな木を選んでもらいました。5種類のヤスリでスプーンの表面を磨いていき、すべてになつたらオイルを塗って完成です。色も形もそれぞれ違うスプーンができました。スプーンづくりの前には、木や森のことをクイズ形式で楽しく学びました。

参加者からは「ヤスリをかけるたびに手触りの違いを感じて子どもたちは目を輝かせていた」、「スプーン1個を作るのも大変で、物の大切さがわかった」、「作ったスプーンでご飯をいっぱい食べたい」などの感想をいただきました。



木のおもちゃにふれあう

緑の募金

高知の木で作ったおもちゃは園児たちに大人気。小さい頃から木に親しんで、森に興味を持つてもらおうと、保育園や幼稚園などに木のおもちゃセットを貸し出しています。



木のおもちゃで遊びながら、木の手触りや香りは五感の発達を促し、子どもたちの発想力を豊かにします。

令和4年度の貸し出し予定

香美市 土佐山田幼稚園	高知市 高知愛児園
香美市 第二土佐山田幼稚園	高知市 高須第2幼稚園
香美市 新改保育園	高知市 上街保育園
香南市 野市保育所	高知市 江陽保育園
佐川町 黒岩中央保育所	高知市 一ツ橋保育園

イベント用の木のおもちゃもあります。

地域の催しなどで使える木のおもちゃセットもあります。貸し出しをご希望する場合はお気軽にお問い合わせください。



森林体験や木工体験など、山や木に親しむイベントを実施します。
イベントの告知は、随時当会ホームページでお知らせします。

高知工科大学 WAvet の取り組み

森林とまちがつながる四万十川河口のまち木工ワークショップ

9月2日(金)、県内外から建築や芸術を学ぶ大学生17名が参加し、地域の伝統文化の継承に取り組む下田応援隊の協力のもと、四万十市下田の歴史を学びました。

はじめに、座学では下田が形成された仕組みやその変遷についてお話を聞きました。下田に集積された木材は約550年も前から船で関西圏に運ばれ建材として利用され、木材流通の重要な港として下田の町が栄えました。次に、下田応援隊の案内で、集落の形成に深く関わったとされる貴船神社や江戸時代から変わらない道筋、かつて使われていた炭小屋など、山・川・海の恩恵で生業を立て発展した下田の町を

見学しました。振り返りではパネル製作に向けて話し合い、地域資源を活用して町に人を呼び込むアイディアなど様々な意見が出されました。

今後は、県産材を使った船のオール製作、下田一帯で行われるイベントに合わせたパネル展示と船漕ぎ体験が予定されています。



10月以降のイベント開催予定

※コロナウイルス等により変更となる場合があります。

開催日	イベント名
10/23(日)	第1回 日ノ御子感謝祭(仮)
10/29(土)	「天空の庭園」からのメッセージ ～山の知恵と人のやさしさに出会う時間～
11月初旬	森林とまちがつながる四万十川河口のまち木工ワークショップ
11/6(日)・20(日)、12/3(土)・10(土)・17(土)・24(土)、1/15(日)	ネイチャーゲーム青空教室・ネイチャークラフト教室
11/12(土)	2022ふなと四万十川源流点ウォーキング
11/12(土)	大月の製炭学習と里山への植栽活動
11/13(日)	まきでのネイチャーゲーム
11/13(日)	甫喜ヶ峰フェスティバル2022
11/13(日)	体験の国 ほのほの王国
11/20(日)	こうち山の日 森林総合センター祭 キッズフェス
11/20(日)、1/15(日)	里山整備&親子自然体験推進事業
11/26(土)・27(日)	林業映画祭2022
12/4(日)	Trail Jamboree in 甫喜ヶ峰 2022
12/10(土)・11(日)	巣箱を作ってブッポウソウの生育環境を増やそう。

高知県森と緑の会 正会員・賛助会員をご紹介

※敬称略・順不同（令和4年10月1日現在）

【正会員】

高知県
34市町村
23森林組合
高知県森林組合連合会
農林中央金庫高松支店

(一社)高知県木材協会
(一社)高知県山林協会
高知県農業協同組合中央会
高知県種苗緑化協同組合
高知市再生資源処理協同組合

安芸建設協会
高陵地区建設協会
株式会社四国銀行
株式会社高知銀行
株式会社高知新聞

【賛助会員】

安芸獵友会
中芸獵友会
芸東地区獵友会
香美獵友会
いの地区獵友会
佐川中央獵友会
須崎地区獵友会
土佐清水地区獵友会
宿毛地区建設協会
嶺北林材協同組合
協同組合木星会
仁淀川漁業協同組合
馬路村農業協同組合
株式会社高知事務機
有限会社エスエス
有限会社香北観光
株式会社海昌

(一社)高知県建設業協会
高知県建設業協会室戸支部
高知県建設業協会嶺北支部
高知県建設業協会南国支部
高知県建設業協会伊野支部
高知県建設業協会高岡北支部
高知県建設業協会高幡支部
高知県建設業協会中村支部
高知県林業改良普及協会
協同組合高知県木材市場連盟
高知県木材産業協同組合連合会
高知県素材生産業協同組合連合会
仁淀流域素材生産業協同組合
こうち生活協同組合
生活協同組合コープ自然派しこく
医療法人恕泉会 内田脳神経外科
医療法人産鈴会 田村産婦人科

(一社)高知県森林整備公社
(一社)高知県森林土木協会
(一社)四国林業土木協会
(一社)日本樹木医会高知県支部
株式会社とされいほく
株式会社島田屋
鈴木建設株式会社
株式会社南国緑地建設
株式会社エヌ・シー・ビー
有限会社福井フラワーガーデン
株式会社林釣漁具製作所
ガーデン&エクステリア e n
中土佐ライオンズクラブ
はりまやハーバークラブ
有限会社太平洋マリン
川村モータース
株式会社東洋ビジネスソリューションズ
とおわ守人企業組合

鍋島 浩
臼井 裕昭
土居 稔
坂本 彰
坂本 千代
受田 浩之
大野 靖紀
野口 朗子

岩村 俊夫
杉本 明
門田 数子
谷口 喜美
江渕 郁子
西内 章子
井澤 三男
福田 誠

吉田 日和
高橋 隆
松本 美香
道原 大貴
黒木 裕貴
山下 裕矢
野島 幸一郎
武石 清志

窪添 享
長田 耕一
安並 真璃子
宮崎 聖
平子 真治
上田 彰彦
片岡 晃代
山口 貴子

市栄 智明
西澤 紗子
西内 健※
溝渕 健夫※
三石 文隆※
加藤 漢※
弘田 兼一※

土森 正典※
浜田 英宏※
依光 晃一郎※
桑名 龍吾※
中西 哲※
萩野 義和※
(※名譽会員)

賛助会員を募集しています！

森林の大切さを伝え、一人ひとりが森林保全に参加する「森づくりの輪」を広げるために、当会の活動をご支援いただける賛助会員を募集しています。

【年会費】

個人 3,000円から
団体 10,000円から

豊かな森林を未来に引き継ぐために、
わたしたちの活動をご支援ください。

※当会は特定公益増進法人に該当します。賛助会費や緑の募金は、
特定寄附金として税制上の優遇装置が受けられます。

事務局の活動やイベントの告知などを発信しています。是非ともご覧ください。



「いいね」も
よろしく！



秋の「緑の募金」キャンペーン

毎年 9 / 1 ~ 10 / 31 は
秋の緑の募金期間です。

「緑の募金」にご協力をお願いします！

都市緑化祭 10/8土▶10/10月

時間：9:30~17:00 ※月は16:00まで

場所：高知市中央公園

植木・鉢花の展示即売会やチャリティーセり市でお得にお庭に緑を増やしましょう♪

苗木や花の種の無料配布、木製品の販売や木工体験コーナー、よさこい鳴子踊り＆チャリティーコンサートなど、イベントが盛りだくさん。遊びに来てね！

10/8(土)に中央公園北口とひろめ市場で募金の呼びかけをします！

募金に来てね～



● 緑の募金箱

高知県内の量販店、ホームセンター、金融機関、道の駅、体験施設等のご協力をいただき、「緑の募金箱」を常設しています。

募金箱を見かけたら、

ご協力をお願いします！

新たに募金箱を設置していただけるところも募集しています。

令和5年度緑の募金公募事業 募集のご案内



緑の募金を活用して、県内の森林整備や緑化推進に関する事業を行う団体に交付金を交付します。

募集時期：令和4年10月中旬から11月末

実施期間：令和5年4月から令和6年3月

<過去の実施例>

地域の植樹活動、どんぐりの森づくり、遊歩道整備、樹木板設置、山・川・海のつながりを考える講演会、森林環境学習や人材育成の講座など

※詳しくは、当会ホームページのトップページ「お知らせ」の告知をご覧ください。



● 緑の募金グッズ

一定額以上の緑の募金でご希望の方にオリジナルグッズをプレゼント！

木製バッジ（9種類）：500円以上

マルシェバッグ（2種類）：1,000円以上

ランチバッグ（4種類）：1,000円以上

山歩き手拭い（3種類）：1,000円以上

※詳しくは、当会ホームページの「緑の募金グッズのご案内」ページをご覧ください。

公益社団法人高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市桟橋通6-7-43 総合保健協会合同庁舎5階

電話番号 088-855-3905 FAX番号 088-855-3906

E-mail : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします >

発行

